

広報

活力あふれ  
ひとが輝く  
安らぎのまち

# 伊万里

平成27年度 予算特集号



伊万里っ子キッズスポーツフェスティバル (3月21日 : 国見台陸上競技場)

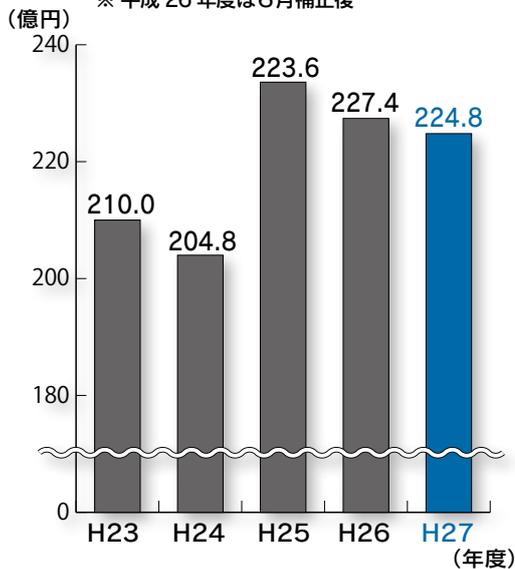
# 一般会計

平成 27 年度当初予算総額

# 224億8,300万円

## 一般会計予算額の年度別推移

※平成26年度は6月補正後



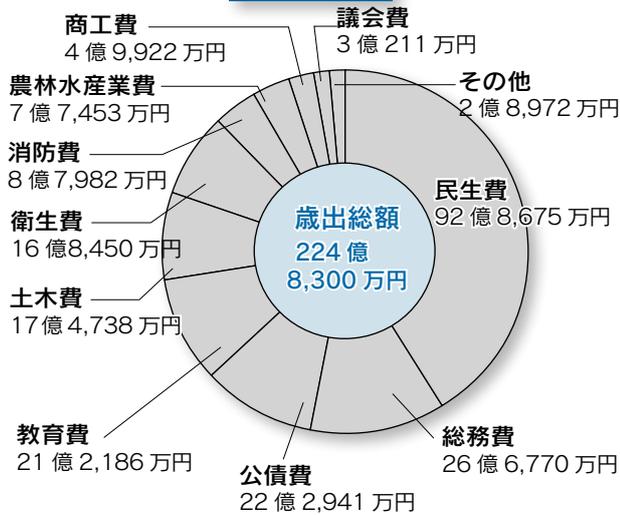
国の経済政策などにより、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、地方においては経済政策の効果が行き渡らず、本市の主要な財源である税収の伸びは不透明な状況です。さらに、リーマンショック以降、景気対策として普通交付税に加算されていた『別枠加算』も減少するなど、今後も厳しい財政運営が見込まれます。このため、行財政改革の着実な推進により経費縮減と歳入確保を図るとともに、既存事業を徹底して見直し、限られた財源のなかで事業の重要性や緊急性を考慮した予算編成に努めました。

歳入については、市税が固定資産税の評価替えの影響や法人市民税の税率改定などによって減収となり、普通交付税も国の地方財政措置における基準財政需要額の見直しに伴い減額が見込まれるため、基金繰り入れや市債の借り入れにより財源の確保に努めました。

一方、歳出については、市民会館耐震改修事業、保育所等支援事業、ごみ処理広域化推進事業、中山間地域農業集落活動支援事業、松島搦地区浸水対策事業、防災行政無線施設整備事業、小・中学校耐震改修事業などに重点的な投資を行いつつ、子育て支援策の充実や保健活動の推進、農林水産業および商業・観光の振興、学校教育の推進、防災の推進などのために、限られた財源を有効に配分した予算編成を行いました。

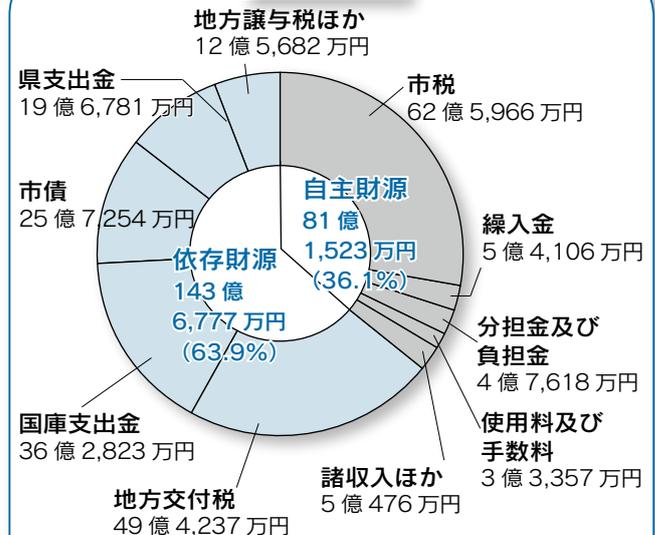
その結果、今年度の伊万里市一般会計予算は、総額で224億8,300万円となりました。平成26年度と比較すると、1.1%の減少となっています。

## 歳出



- **民生費**………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です。
- **総務費**………企画や男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です。
- **公債費**………借入金の返済に要する経費です。
- **教育費**………小・中学校などの学校教育や社会教育、保健体育など教育全般の経費です。
- **土木費**………道路や河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です。
- **衛生費**………保健衛生や、ごみの収集・処理などに要する経費です。
- **消防費**………火災など災害に対応するための経費です。
- **農林水産業費**………農林水産業の振興に要する経費です。
- **商工費**………商工業や観光の振興に要する経費です。
- **議会費**………議会運営に要する経費です。
- **その他**………労働費や諸支出金、災害復旧費などです。

## 歳入



- **市税**………個人と法人の市民税や固定資産税、たばこ税などです。
- **繰入金**………基金や特別会計からの繰入金です。
- **分担金及び負担金**………災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです。
- **使用料及び手数料**………施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです。
- **諸収入ほか**………雑入などです。
- **地方交付税**………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです。
- **国庫支出金**………国からの負担金や補助金です。
- **市債**………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です。
- **県支出金**………県からの負担金や補助金です。
- **地方譲与税**………国税から譲与されるものです。

# 特別会計

特定の事業を行う際、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるので、特別会計を設けています。

平成27年度は、表1のとおり7つの特別会計を設けており、その予算総額は、177億7926万円となっています。

**■国民健康保険特別会計**  
国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療給付などを行うための会計です。

表1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	81億6,412万円
介護保険	60億1,265万円
立花台地開発事業	1,585万円
公共下水道事業	20億7,388万円
農業集落排水事業	1億3,306万円
市営駐車場	1,245万円
後期高齢者医療	13億6,725万円
計	177億7,926万円

**■介護保険特別会計**  
介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です。



表2 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業
収益的収支	収入	14億9,732万円
	支出	14億9,732万円
資本的収支	収入	12億174万円
	支出	18億3,988万円

**■立花台地開発事業特別会計**  
公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です。

**■公共下水道事業特別会計**  
快適な生活環境の実現をめざし、下水道の整備や処理場の維持管理を行うための会計です。

**■農業集落排水事業特別会計**  
農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です。

**■市営駐車場特別会計**  
中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です。

表3 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	217億9,725万円	
特別会計	公共下水道事業	121億5,667万円
	農業集落排水事業	10億6,807万円
計	350億2,199万円	

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	48億1,366万円
	工業用水道事業	141億5,933万円
計	189億7,299万円	

※平成27年3月補正後の金額です。  
※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです。

**■後期高齢者医療特別会計**  
後期高齢者医療制度の適用を受ける75歳以上の高齢者と65歳以上で一定の障害がある人から徴収した保険料を、佐賀県後期高齢者医療広域連合に納付する会計です。

## 企業会計

地方公営企業法の適用を受け、特別会計の中でも経営成績を明確にする必要があるため、次の2つの企業会計を設けています。それぞれの会計ごとの予算額は、表2のとおりです。

**■水道事業特別会計**  
安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

**■工業用水道事業特別会計**  
工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

## 市債現在高

建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから資金を借り入れています。市債の現在高は、表3のとおりです。

地域資源、協働の力を最大限に発揮

# 一步 着実に前進

平成27年第1回定例市議会（3月議会）で、塚部芳和市長が平成27年度の市政運営について所信表明を行いました。下記では、その一部を紹介いたします。

平成27年  
第1回定例会  
所信表明



伊万里市長  
塚部 芳和

## はじめに

私は、昨年4月に市民の皆さんから4期目の市政運営の負託をいただき、その責任の重大さをあらためて強く感じながら、暮らしの安全と安心の確保、地域産業の振興、にぎわいと活力の創造の3つの柱のもと政策の推進に努めてきました。

特に、市長就任以来、重点施策として取り組んできた西九州自動車道が、2月1日に南波多谷口インターチェンジまでの市内区間の供用が開始され、九州の経済や文化の中心である福岡都市圏と高速交通体系で直接結ばれたことにより、今まさに、伊万里市は

西九州北部地域の中核都市として確固たる成長力を手にしました。

市制60周年の節目を越え、新たな出発点に立った今、私は、長い歴史に培われた伝統を守り継承しながらも、市民の皆さんの英知を結集し、伊万里港や西九州自動車道などの誇るべき地域資源や協働の力を最大限に発揮し、一歩一歩、着実に市政の歩みを進めていくことが、私の使命であると決意を新たにしています。

## 市政を取り巻く情勢

今日の社会情勢については、デフレ懸念が強まる欧州経済の先行き不安に加え、昨年夏からの原油価格の下落により世界経済は大きく揺れ動いており、我が国経済への影響は決して予断を許さない状況にあります。

国においては、昨年末の衆議院総選挙により第3次安倍内閣が発足し、個人消費の喚起と円安対策を柱に、経済政策である『アベノミクス』を

さらに加速し、その効果を今後地方や中小企業に波及させることとされており、さらには、最終局面を迎えている環太平洋経済連携協定交渉の年内の大筋合意に向けた取り組みとともに、60年ぶりとなる農協改革の方針などが示されました。

また、11月に成立した地方創生関連2法に基づき、東京圏への一極集中の是正、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、地域の特性に即した課題の解決をめざし、まち・ひと・しごと創生と好循環の確立に向けた取り組みが開始されています。

我が国では、経済政策や金融政策などの拡大により大幅な円安が進み、輸出関連産業を中心に大企業の業績は好転の傾向を示すなど、景気は回復基調にあります。ところが、地方においては直接的な効果を実感できない状況が継続しており、本市財政も社会保障費の増大が重なり、依然として厳しい状況にあります。

## まちづくりの基本方針

このように激動する社会経済情勢の中で、地方における行政運営が困難な時代に直面している今こそ、伊万里市の将来の姿を見据えた自律的な行政運営を堅持し、選択と集中による事業の展開により、未来に夢を描けるまちづくりに挑戦していかなくてはなりません。

地方創生の考えのもと、我が国全体が活力あふれ持続的に発展するために地方の大胆な実行力が求められ、熱意ある地方の創意工夫への支援の方向性が示されたことから、私は、好機の拡大をいち早く政策に取り込み、伊万里市版の地方創生を積極的かつ戦略的に推し進めるため、本年1月に、私が本部長となり、まち・ひと・しごと創生総合戦略本部を設置しました。今後、学識経験者をはじめ、市民の皆さんの意見をお聞きしながら、地方創生の具体的な実施計画となる総合戦略を策定し、人口減少の抑止はもとより、交流人口のさらなる拡大や若者の就業機会の確保、定住の促進、子育て支援の拡充など、地域や企業、市民の皆さんと一丸となり将来の発展に向けた施策を展開していく覚悟です。

# 一歩

## 主要な施策

政策の推進にあたっては、総合計画に定めた将来都市像である『活力あふれ ひとが輝く 安らぎのまち 伊万里』の実現をめざし、後期基本計画と伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付ける施策をスピード感をもって展開し、重点的な事業の推進に努めます。

### 安全と安心の確保

玄海原子力発電所の再稼働へ向けた準備が進む中、引き続き、原発の立地自治体並みの安全協定の締結について電力会社へ働きかけるとともに、再稼働の判断に際しては、新たにUPZ圏内に組み込まれた本市への配慮がなされるよう、佐賀県に対し引き続き要請します。

また、自然災害や原子力災害などが発生した場合に主要な情報伝達手段となる防災行政無線の実施設計に取り組むとともに、災害時の避難経路となる国道や県道、市道の整備を促進します。さらに、身近に発生した鳥インフルエンザなどの感染症や自然災害等の未然防止に努め、災害の発生時においては、最小限の被害にとどめるよう、関係機関などと連携するなど、

盤石な体制で対応します。県西部4市5町で整備を進めている広域ごみ処理施設については、来年1月の稼働に向け、施設本体の建設など事業の着実な進捗を図ります。

### 都市基盤の整備と産業の振興

迅速な物流体系の構築や交流人口の拡大に欠かすことができない道路網の整備については、平成29年度に予定されている西九州自動車道の伊万里東インターチェンジ（仮称）までの延伸を促進し、福岡都市圏からの移動時間の短縮を図るとともに、臨港道路七ツ島線をはじめ、国道204号バイパス、都市計画道路大坪木須線の整備を促進するなど、臨海部の工業団地から長崎自動車道や西九州自動車道へのアクセスの向上を図ります。

また、伊万里港については、博多港を補完する国際物流拠点として、より大型の船舶の寄港が可能となるよう、航路と泊地の水深13mの浚渫を促進するとともに、浦ノ崎地区の産業用地としての整備に向け、佐賀県との協議を進めるなど、さらなる振興に努めます。さらに、西九州自動車道の延伸を契機として、福岡都市

# 大胆な実行力による

圏をターゲットとする観光戦略や定住促進などの地域活性化策のさらなる展開に努めるとともに、農林水産物の生産から加工、販売まで行う6次産業化については、専門のアドバイザーの支援を受けながら、新商品の開発や販売手法の研究などの取り組みを促進します。

地域活性化の側面から全国的に着目されている『ふるさと応援寄附金』については、新たに、本年1月に政策経営部内にふるさと応援係を設置し、伊万里牛の製品を追加して寄付特典を拡充したところ、全国から反響があり、大幅な伸びを示しています。

地域経済への波及効果の拡大の手応えも感じているところであり、本市ならではの特産品のPR機会拡大の観点から、さらなる充実に努めます。

### 活力を生み出すひとづくり

昨年6月に日本創生会議が

公表した人口推計によると、我が国の人口は、平成52年には1億600万人となり、30年間で約17%の減少が見込まれる中で、本市においては4万3192人にまで減少すると推計されており、人口減少の抑止は地方に共通する喫緊の課題となっています。

このため、独身の男女を対象とする出会いの場の提供や講座の開催など結婚活動を支援するとともに、子ども・子育て支援事業計画に基づき、保育園や留守家庭児童クラブなどにおいてきめ細かな保育サービスを提供するなど、結婚から妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援に努めます。

また、新たに総合教育会議を設置し、教育をはじめ学術や文化の振興など、今後の本市教育のあり方に関する総合的な施策の大綱を定めるとともに、小学生から18歳までに4人以上の子どものいる世帯に対し、4人目以降の給食費の助成を開始して経済的負担の軽減を図るほか、小・中学校のすべての普通教室と特別支援教室に電子黒板を配置するなど、本市の未来を担う子どもたちの確かな学力と豊かな心を育むための教育環境の充実に努めます。

※次ページからは、主要な施策の概要と予算などについて、総合計画の5つのまちづくりの目標に沿って説明します。

# 安心して健やかな暮らしづくり

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、健康に不安を持つ一人暮らしの高齢者を対象とする緊急通報システム機器などの設置に取り組みとともに、老人クラブなどの活動を支援します。

障害のある人が施設や自宅で自立して生活するための介護給付や就労に向けた職業訓練の支援など障害福祉サービスの提供に努めます。子育て支援を充実させるため、一時預かりや延長保育、病後児保育など多様な保育ニーズへの対応に努めるとともに、留守家庭児童クラブにおいて児童の健全な育成と安全な生活の場の提供を図ります。

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査や特定保健指導を行うとともに、食を通じた健康づくりを推進し若年期からの生活習慣病の予防を図るほか、各種がん検診の受診率向上に努めます。

予防接種法に基づき、麻疹・風しんなど各種ワクチンの定期予防接種を適切に実施し感染症の予防に努めます。伊万里市有田共立病院の運営を支援するとともに、休日などの医療体制の確保を図ります。



伊万里市老人クラブ連合会主催のシルバー体育祭

### ●緊急通報システム運用事業 69万円

在宅の一人暮らし高齢者が家庭内で急病などの緊急事態に陥ったときなどに、専用の機器で簡単に通報ができ、必要な対応が受けられる環境を整備します。

財源 市69万円 ▼長寿社会課

### ●老人団体支援事業 265万円

市老人クラブ連合会と各町単位老人クラブの活動などに要する経費の一部を補助します。

財源 県58万円 市207万円 ▼長寿社会課

### ●重度障害者（児）医療給付事業 1億1622万円

心身に重度の障害がある人に対し、医療費の一部を給付します。

財源 県5811万円 市5811万円 ▼福祉課

### ●障害者介護・訓練等給付事業 9億9537万円

障害者やその保護者が利用する障害福祉サービスの費用の一部を支給し、障害者の自立や社会参加を支援します。

財源 国4億9702万円 県2億4851万円 市2億4984万円 ▼福祉課



市内の福祉施設が参加する『ほほえみ広げてふれあいステージ』

### ●身体障害者更生医療給付事業 9276万円

身体に障害がある人の障害部位の加療により、改善または機能維持が図られる場合（人工透析、心臓手術など）に医療費を給付します。

財源 国4628万円 県2314万円 市2334万円 ▼福祉課

### ●身体障害児育成医療給付事業 225万円

身体に障害がある18歳未満の児童に対し、原則として手術（内科的治療は除く）を受けるために必要な費用を給付します。

財源 国112万円 県56万円 市57万円 ▼福祉課

### ●ひとり親家庭等医療費助成事業 2945万円

母子・父子家庭の父母とその養育する児童や、父母のいない児童に対し、医療費の一部を助成します。

財源 県1472万円 市1473万円 ▼福祉課

●生活困窮者自立支援事業【新】

732万円

生活困窮者自立支援法の施行に伴い、生活困窮者への相談窓口の設置や包括的相談支援、住居確保給付金を支給します。

財源 国549万円 市183万円

▼福祉課

●生活保護費支給事業

11億9948万円

生活困窮者が最低限度の生活を送るために必要な費用を支給します。

財源 国8億9961万円 県2610万円 市2億7377万円

▼福祉課

●臨時福祉給付金支給事業

9653万円

消費税率の8割への引き上げによる低所得者への影響を緩和するため、平成26年度に引き続き、臨時的に給付金を支給します。

財源 国9653万円

▼福祉課

●子育て世帯臨時特例給付金支給事業

3983万円

消費税率の8割への引き上げによる子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図るため、平成26年度に引き続き、臨時的に給付金を支給します。

財源 国3983万円

▼福祉課

●多子世帯給食費助成事業【新】

117万円

児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、小学生から18歳までに4人以上の子どもがいる世帯に対し、4人目以降の給食費の全額を助成します。

財源 市117万円

▼福祉課

●子どもの医療費助成事業

9461万円

小・中学生が入院したり、小学校就学前の幼児が入院・通院したりした際に必要な費用（保険診療分）の自己負担額の一部を助成します。

財源 県4604万円 諸収入30万円 市4827万円

▼福祉課

●留守家庭児童クラブ管理運営事業

7127万円

就労などで昼間に保護者のいない家庭の小学校低学年の児童を預かる留守家庭児童クラブを管理・運営します。

財源 使用料2567万円 国1463万円 県1516万円 諸収入70万円 市1511万円

▼教育総務課

●子育て支援センター管理運営事業

419万円

子育て相談業務や多様化する保育需要に応じた一時預かり、休日保育などを行う子育て支援センターを管理・運営します。

財源 使用料76万円 国119万円 県119万円 市105万円

▼福祉課



こいのぼり掲揚式で、元気に子ども太鼓の演奏を披露する久原保育園児

●健康増進事業

3671万円

市民の健康保持を目的に、各種健（検）診や健康相談などを実施します。

財源 国89万円 県155万円 繰入金51万円 諸収入584万円 市2792万円

▼健康づくり課

●予防接種事業

1億7231万円

感染症の発生を未然に防止するため、小児などへの各種予防接種と高齢者のインフルエンザ予防接種などを実施します。また、妊婦の風しんへの感染を予防し、安心して出産できるように成人用風しんの予防接種を実施します。

財源 県32万円 市1億7199万円

▼健康づくり課

●妊婦乳児健康診査事業

5142万円

乳児が心身ともに健やかに育つよ

う、また、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図ることで安心して出産ができる体制を確保するため、乳児および妊婦の健康診査を実施します。

財源 市5142万円

▼健康づくり課

●休日・夜間急患医療センター管理運営事業

1566万円

日曜・祝日の休日診療や、平日の夜間における小児診療などを行う休日・夜間急患医療センターを管理・運営します。

財源 市1566万円

▼健康づくり課

●伊万里・有田地区医療福祉組合運営負担金

1億7937万円

伊万里・有田地区医療福祉組合が行う伊万里有田共立病院事業の運営に要する経費を負担します。

財源 市1億7937万円

▼健康づくり課

●病院群輪番制病院運営事業

460万円

休日に入院治療を必要とする重症救急患者の医療を確保するため、輪番制により開院する伊万里・有田地区内の10病院に対し、運営に要する経費を補助します。

財源 諸収入166万円 市294万円

▼健康づくり課

# 創造的で心豊かなひとづくり

伊万里の歴史や伝統を学ぶ伊万里学など地域の文化づくり活動を促進し、地域を担う人材の育成に努めるほか、市民図書館開館20周年を記念して公開講座を開催するとともに、家読については全市的な取り組みを推進するなど、幅広い世代への学習機会の提供に努めます。

青少年の健全育成を推進するため、学校や関係団体と連携し、いじめや不登校などの悩みを抱える青少年や保護者からの相談の対応に努めるとともに、心に不安を抱える児童や保護者などを支援するためスクールカウンセラーを配置します。また、すべての小・中学校に学校いじめ対策委員会を設置するとともに、専門的な見地から問題の解決を図るため、教育委員会の付属機関としていじめ問題対策委員会を設置します。

伊万里ハーフマラソンや市内一周駅伝大会などの開催をはじめ、体育協会や各競技団体などの活動を支援するなど、競技力の向上を図ります。

史跡大川内鍋島窯跡の学術的な調査を実施するとともに、肥前地域の特徴的な史料価値を有する窯跡の盗掘を防止するためのパトロールや警告看板の設置など、地域と一体となった保護活動に取り組みます。



伊万里ウォーク 秘窯の里・鍋島コース (11キ)

### ●伊万里塾開催事業

地域の歴史や文化、風土、自然などの特性を生かした地域づくりを推進するため、各町公民館を拠点に独自の講座などを開催します。

財源 市56万円 ▼生涯学習課

### ●人権に関する市民意識調査事業【新】

市民の人権問題などに対する意識を把握し、今後の人権教育・啓発を効果的に推進するため、アンケート調査を実施します。

財源 市40万円 ▼生涯学習課

### ●図書館開館20周年記念事業【新】

市民図書館が開館20周年を迎えることから、これまでの歩みを振り返るとともに、今後の図書館の役割やかわりを考えていくため、公開講座を開催します。

財源 繰入金27万円 ▼市民図書館

### ●ブックスタート事業

生後3か月を迎えた乳児とその保護者に対し、3か月児健診時に絵本を配布し、ボランティア団体と協働して読み語りをを行います。

財源 繰入金63万円 ▼市民図書館

### ●家読推進事業

家読講演会を開催し、家読を理解する場を提供するとともに、各学校で読書リーダーを育成するための「子ども司書講座」を開催します。

財源 繰入金19万円 ▼市民図書館



星 健次郎さん(埼玉県三郷市教育委員会学校教育部長)を招いての家読推進講演会

### ●青少年相談事業

いじめや不登校、非行などの問題を早期に解決するため、子どもや家庭が抱える悩みなどの相談に応じます。

財源 市176万円 ▼生涯学習課

### ●スクールカウンセラー配置事業

教育相談の専門的な知識や経験を持つスクールカウンセラーを小学校に配置し、不登校やいじめなど、子どもや保護者が抱える悩みについて、カウンセリングを行います。

財源 県100万円 市199万円 ▼学校教育課

●いじめ問題対策事業【新】 95万円

いじめ問題に対応するため、各学校に学校いじめ対策委員会を設置します。また、専門的な見地から検討、改善するため、教育委員会の付属機関として弁護士、臨床心理士などで構成するいじめ問題対策委員会を設置します。

財源 市95万円 ▼学校教育課

●スクールサポーター配置事業 190万円

いじめや暴力行為、非行防止対策などを支援するため、少年非行などに関する知識を持つ指導員を小・中学校に配置します。

財源 市190万円 ▼学校教育課

●特別支援児童生徒サポート事業 2510万円

小・中学校において学習障害（LD）や注意欠陥多動性障害（ADHD）、肢体不自由などの児童・生徒に対し、学習・生活支援を行うため、支援員を配置します。

財源 市2510万円 ▼学校教育課

●学校適応指導教室運営事業 375万円

学習や体験活動を通じて不登校児童生徒の学校復帰を支援する学校適応指導教室『せいら』（生涯学習センター内）と『せいら西』（旧ポリテクセンター内）を運営します。

財源 市375万円 ▼学校教育課

●中学校放課後等補充学習事業 75万円

生徒の学力向上と学習習慣の定着を図るため、放課後などに地域の人材を活用して補充学習を行います。

財源 県45万円 市30万円 ▼学校教育課

●小・中学校パソコン管理事業 4524万円

教職員の校務用パソコンを更新するとともに、各教室に電子黒板を導入します。

財源 繰入金62万円 市4462万円 ▼学校教育課

●小・中学校耐震改修事業 3億5714万円

耐震診断により補強が必要と判定された小学校の校舎と屋内運動場の改修工事を行うとともに、小・中学校の非構造部材を補強します。

財源 国1億1316万円 市債2億4260万円 市138万円 ▼教育総務課

●公民館耐震改修事業【新】 1072万円

耐震診断により補強が必要と判定された生涯学習センターの改修工事を行います。

財源 国357万円 市債710万円 市5万円 ▼生涯学習課

●体育施設耐震改修事業【新】

耐震診断により補強が必要と判定された体育館などの改修工事を行います。

財源 国1299万円 市債5410万円 市12万円 ▼体育保健課

●ハーフマラソン大会開催事業 100万円

日本陸上競技連盟公認コースでのハーフマラソン大会を開催し、競技力の向上を図るとともに、全国のランナーに伊万里に来てもらうことで、スポーツ交流人口の増加を図ります。

財源 市100万円 ▼体育保健課



市で初めて開催した伊万里ハーフマラソンには、2,000人以上が参加

●小学校建設事業 4193万円

二里小学校の外構工事や仮設校舎の解体工事などを行います。

財源 繰入金4183万円 市10万円 ▼教育総務課

●史跡大川内鍋島窯跡学術調査事業 2300万円

平成25年度に策定した国史跡の大川内鍋島窯跡の、整備計画に基づき、今後の整備事業の資料とするために発掘調査を行います。

財源 国115万円 繰入金63万円 市52万円 ▼生涯学習課

●学校給食センターPFI事業 1億6454万円

PFI手法により整備をした学校給食センターの建設経費などを、平成18年度から平成33年度までの16年間にわたり支払います。

財源 市1億6454万円 ▼体育保健課

●大連市友好交流促進事業【新】 86万円

友好交流都市・中国大連市との交流を発展させるため、伊万里市代表団を派遣して、さらなる親善強化を図ります。また、大連市の旅遊局などを訪問し、伊万里市の魅力をPRすること、大連市から本市への誘客を図り、市民レベルの交流を促進します。

財源 市86万円 ▼国際交流室

# 活気あふれる産業づくり



いまり秋祭り『市民総踊り』では多くの市民が参加

水田農業の収益性を高めるため、高性能機械などの導入支援や経営所得安定対策を講じるとともに、野菜や果樹などの園芸作物については、品質の向上や低コスト化のための機械の導入と施設整備を支援します。また、中山間地域における農業生産活動や、農地が持つ多面的機能を維持するために地域が一体となって取り組む活動を支援します。森林の施業の効率化と保護を図るため、事業者が実施する森林経営計画の作成と施業の集約化に向けた森林情報の収集・調査活動や、森林地理情報システムの導入などを支援します。

魅力ある商業空間を創出するため、商工会議所などの関係団体と連携し、商店街への集客やにぎわいづくりのためのイベント開催のほか、中心市街地活性化の拠点施設である伊万里まちなか一番館の運営を支援します。

福岡都市圏からの交流人口の増加を図るため、さまざまなメディアを活用して観光情報を発信するとともに、伊万里焼や伊万里牛などの魅力をPRするイベントを福岡市内の商業施設やホテルなどで開催するほか、本市を観光ルートに組み入れた旅行の商品化を促進します。

### ●水田農業機械・施設等整備支援事業

550万円

水田農業の担い手の経営安定と、競争力のある売れる米・麦・大豆づくりを推進するため、必要な機械・施設などの整備に要する費用の一部を補助します。

財源 県423万円 市127万円

#### ▼農業振興課

### ●園芸農業機械・施設等整備支援事業

5325万円

収益性の高い園芸農業の確立を図るため、収量・品質の向上や省エネ・省力化などに取り組みむために必要な機械・施設などの整備に要する費用の一部を補助します。

財源 県4437万円 市888万円

#### ▼伊万里梨課

### ●中山間地域農業集落活動支援事業

1億8942万円

中山間地域における農業生産条件の不利を補うとともに、耕作放棄地の発生防止や水源かん養、洪水防止などの多面的機能の維持向上を図るため、協定集落の活動に要する費用の一部を補助します。

財源 県1億4262万円 市4680万円

#### ▼農業振興課

### ●中山間地域農業基盤・環境整備促進事業

1440万円

中山間地域における農業基盤などの総合整備を行います。

財源 分担金160万円 市債280万円 市1000万円

#### ▼農山漁村整備課

### ●環境保全型農業取組支援事業

533万円

化学肥料・化学合成農薬の低減や、有機農業などに取り組みながら、地球温暖化の防止や生物多様性の保全に効果が高い営農活動に要する費用の一部を補助します。

財源 県401万円 市132万円

#### ▼農業振興課

### ●農業経営安定等支援事業

158万円

経営所得安定対策を円滑に推進するため、生産組合の活動に要する費用の一部を補助します。

財源 市158万円

#### ▼農業振興課

### ●農地・水保全管理支援事業

1億2129万円

農地や農業用水などの資源と農村環境を、将来にわたって良好な状態で保全するため、管理活動に要する費用の一部を補助します。

財源 県9144万円 市2985万円

#### ▼農山漁村整備課

●新規就農給付金支給事業

1325万円

経営が不安定な就農直後の所得を確保するとともに、就農時における初期負担を軽減するため、必要な費用の一部を補助します。

財源 県1325万円 ▼農業振興課

●有害鳥獣対策事業

1074万円

有害鳥獣による農作物被害を軽減し、農業経営の安定を図るため、駆除や被害防止対策に要する費用の一部を補助します。

財源 市1074万円 ▼農業振興課

●特用林産物生産基盤整備事業【新】

50万円

特用林産物（しいたけ）の生産振興および生産者の経営安定を図るため、特用林産物の生産に必要な機械・施設などの整備に要する費用の一部を補助します。

財源 県50万円 ▼農山漁村整備課

●森林を守る交付金事業【新】

266万円

効率的な林業生産活動の推進を図るため、分散している小規模な森林を取りまとめて、施業集約化や森林経営計画の策定に要する費用の一部を補助します。

財源 国133万円 県66万円 市67万円 ▼農山漁村整備課

●森林・林業再生基盤づくり交付金事業【新】

653万円

森林の整備・保全や、林業・木材産業の健全な発展、木材利用の推進を図るため、森林や林業の再生基盤となる機械・施設の整備に要する費用を補助します。

財源 県653万円

▼農山漁村整備課

●沿岸漁業振興特別対策事業【新】

310万円

沿岸漁業の振興を図るため、漁業関連施設などの整備や漁場環境などの改善に要する費用を補助します。

財源 県155万円 市155万円

▼農山漁村整備課



伊万里まちなか一番館開館3周年を記念して開催された『伊万里まちなか鉄道展』での立川真司ショー

●まちなか活性化団体支援事業

852万円

中心市街地活性化に向けて、伊万里まちなか一番館を拠点に、民間のまちづくり団体が中心となって取り組む各種事業に要する費用の一部を補助します。

財源 県50万円 市802万円

▼企業誘致・商工振興課

●観光PR事業

461万円

西九州自動車道の本市への延伸に伴い、さまざまなメディアを活用して情報を発信し、福岡都市圏などからのさらなる観光客の誘致を図るとともに、秋祭りでの川落としの観覧場所として使用している船屋橋の耐力調査を行います。

財源 繰入金143万円 市318万円 ▼観光課

●伊万里ブランドフェア開催事業

78万円

さらなる特産品の販売促進と観光客の誘致を図るため、福岡市内のホテルで宿泊者や来館者を対象に、伊万里の魅力を実感できる『伊万里フェア』を開催します。

財源 繰入金78万円 ▼観光課

●伊万里ブランド販売促進事業

53万円

伊万里ブランドの認知度向上と販売促進を図るため、大型百貨店におい

て、伊万里焼風鈴の展示即売などを行います。

財源 繰入金53万円 ▼観光課

●観光振興団体支援事業

500万円

観光地としての知名度や他自治体との競争力を高め、さらなる観光客の増加を図るため、本市を観光ルートに設定した『募集型企画旅行』の実施に要する費用の一部を補助します。

財源 市500万円 ▼観光課



料理人 道場六三郎監修の『伊万里牛弁当』

●伊万里港ポータルセールス推進事業

500万円

伊万里港七ツ島国際コンテナターミナルの取扱貨物の増加に向けて、佐賀県伊万里港振興会が実施する助成事業に要する費用の一部を負担します。

財源 市500万円

▼伊万里湾総合開発・国道対策課

# 安全で快適な地域づくり

市街地における交通の円滑化や安全性を確保するため、都市計画道路大坪小学校線の整備を進めるとともに、市道の適正な維持管理を行うほか、長寿命化修繕計画に基づいて橋りょうの点検、補修を行います。

危険な状態にある空き家などの所有者に対し適正な管理を促すため、除却などの対策を講じるとともに、一般住宅の耐震診断への補助や、立花市営住宅および立岩市営住宅の改修を行います。

環境センターの適正な維持管理に努め、12月の稼働停止後はリサイクルセンターとしての活用を図ります。

防災の担い手である地区防災委員の研修や情報伝達訓練などを実施し、地域における防災力の向上を図るほか、馬伏地区および松島搦地区における浸水被害を軽減するため、排水機場の供用開始に向けた設備や水路などの整備に取り組みます。

鉄道の安全な運行と経営の安定化を図るとともに、路線バスの既存路線の維持に努めるほか、いまりんバスの運行や東山代元気バスの運行支援に取り組むなど、市民の移動手段の確保に努めます。



地域防災へ貢献することを誓う消防団の新団員

### ●道路管理事業 7377万円

市内全域の市道の維持補修などを行います。

財源 国5800万円 市1577万円

▼建設課

### ●道路管理事業【新】 217万円

平成25年度に実施した道路防災・付属物点検の結果に基づき、老朽化している道路付属物や法面を補修します。

財源 国660万円 市債540万円 市17万円

▼建設課

### ●市道改良事業 5881万円

道整備交付金を活用して、市道2路線の改良を行います。

財源 国2900万円 市債2860万円 市121万円

▼建設課

### ●交通安全施設整備事業 7199万円

歩行者の安全を確保するため、社会资本整備総合交付金を活用して、歩道の新設や段差解消、拡幅などを行います。

財源 国3905万円 市債3190万円 市104万円

▼建設課

### ●都市計画道路整備事業（大坪小学校線） 1217万円

社会资本整備総合交付金を活用して、都市計画道路大坪小学校線を整備します。

財源 国660万円 市債540万円 市17万円

▼都市開発課

### ●都市計画道路整備促進事業（大坪木須線） 1500万円

県営事業で実施される都市計画道路大坪木須線の整備に要する費用の一部を負担します。

財源 市債1350万円 市150万円

▼都市開発課

### ●橋りょう管理事業 2121万円

平成25年度に策定した伊万里市橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、社会资本整備総合交付金を活用して、老朽化した橋りょうを点検・補修します。

財源 国1155万円 市債670万円 市296万円

▼建設課

### ●橋りょう新設改良事業【新】 1000万円

県営事業で実施される中山川局部改築工事における、市道板木2号線小の原橋の架け替えに伴い、橋りょうの拡幅に要する費用を負担します。

財源 県1000万円

▼建設課

●有田川浄水場更新事業〔水道事業特別会計〕 10億9810万円

施設の老朽化や水源の水質変化などに伴い、安全・安心で良質な水道水を供給するため、高度浄水処理施設への更新工事を行います。

財源 国2億2989万円 市債6億5000万円 出資金1億6670万円 市5151万円 ▼水道部工務課

●農業集落排水事業〔農業集落排水事業特別会計〕 1億3306万円

農村環境の保全、向上を図るため、農業集落排水処理施設などを維持・管理します。

財源 国275万円 繰入金7144万円 市債1600万円 市4287万円 ▼下水道課

●空き家等管理促進事業 168万円

危険な空き家の除去などを行います。

財源 国67万円 市101万円 ▼建設課

●市営住宅改修事業 4716万円

社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化した市営住宅を改修します。

財源 国2220万円 市債2470万円 諸収入5万円 市21万円 ▼建設課

●一般廃棄物収集運搬事業

1億6646万円  
ごみ（一般廃棄物）を分別するため

の指定ごみ袋などを製作するとともに、ごみを収集運搬します。

財源 手数料1億611万円 諸収入30万円 市6005万円 ▼環境課

●環境センター管理運営事業 2億6096万円

市内から排出されたごみ（一般廃棄物）を適正に処理するため、焼却施設を管理運営するとともに、ごみのリサイクル処理を行います。

財源 諸収入1669万円 市2億4427万円 ▼環境課

●河川管理事業 1625万円

準用河川および普通河川の機能維持と、河川の排水機場や樋門などの管理を行います。

財源 国327万円 県295万円 市1003万円 ▼土木管理課

●排水機場機能保全計画策定事業〔新〕 643万円

長浜六本松と木須新田排水機場の老朽化や機能低下の状況を把握し、計画的に維持補修するための計画を策定します。

財源 国643万円 ▼土木管理課

●ため池整備促進事業 950万円

災害の防止や農地などの保全、農業生産の維持、農業経営の安定を図るため、老朽化したため池を改修します。

財源 分担金250万円 市債450万円 市250万円 ▼農山漁村整備課

●煤屋川改修事業 3971万円

狭く蛇行している煤屋川が、台風や豪雨で頻繁に氾濫し、農地や家屋が浸水被害を受けるため、社会資本整備総合交付金を活用して改修します。

財源 国1300万円 市債2560万円 市111万円 ▼土木管理課

●煤屋川改修関連市道改良事業 412万円

社会資本整備総合交付金を活用して改修する煤屋川の管理道路と兼用する市道煤屋3号線を拡幅します。

財源 県395万円 市17万円 ▼土木管理課

●浄化槽設置促進事業 2549万円

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、世帯が浄化槽を設置するための費用の一部を補助します。

財源 国849万円 県850万円 市850万円 ▼下水道課

●浸水対策事業 3億1566万円

満潮と豪雨が重なる際に道路などが冠水する松島搦地区に、雨水渠や排水機場などを整備します。

財源 国1億5100万円 市債1億4760万円 市1706万円 ▼下水道課

●環境基本計画策定事業〔新〕 113万円

環境保全対策を総合的・計画的に推進するため、平成18年度に策定された基本計画を改定します。

財源 市113万円 ▼環境課

●資源ごみ回収促進事業 259万円

リサイクルやごみ減量化対策を推進するため、資源ごみの回収活動に要する費用の一部を補助します。

財源 市259万円 ▼環境課



毎年多くの人でにぎわう市役所公用車庫で開催されるリサイクルバザー

●ごみ集積所整備促進事業 28万円

ごみ集積所を適正に管理するため、行政区がごみ集積箱などを設置する費用の一部を補助します。

財源 市28万円 ▼環境課

●ごみ処理広域化推進事業

2億8067万円

佐賀県西部4市5町で構成する佐賀県西部広域環境組合に対し、新施設の建設などに要する費用の一部を負担します。

財源 市2億8067万円 ▼環境課

●広域ごみ処理施設建設に係る地域振興事業 2473万円

佐賀県西部広域環境組合と松浦町広域ごみ処理施設建設対策協議会との間で締結された地域振興策協定に基づき、組合からの依頼を受けて松浦町にスポーツ・レクリエーション施設を整備するための実施設計や立木補償調査などを実施します。

財源 繰入金2473万円 ▼環境課

●伊万里・有田地区衛生組合運営負担金 2億8410万円

伊万里・有田地区衛生組合のし尿などの処理や火葬事業に要する費用の一部を負担します。

財源 市2億8410万円 ▼環境課

●鉄道交通支援事業 1144万円



いまりんバス（写真は市街地線）

第三セクターである松浦鉄道株式会社

の円滑な事業運営のため、松浦鉄道沿線の自治体で組織する松浦鉄道自治体連絡協議会が決定した施設整備事業計画に基づき、施設の整備・更新に要する費用の一部を補助します。

財源 市1144万円

▼地域振興・公共交通対策課

●コミュニティバス運行事業

1624万円

高齢者などの交通弱者の移動手段を確保するため、市独自の地域密着型バスを運行します。

財源 市1624万円

▼地域振興・公共交通対策課

●バス交通支援事業 880万円

地域の特色ある取り組みとして定着している東山代「元気バス」事業に要する費用の一部を補助します。

財源 市880万円

▼地域振興・公共交通対策課

●伊万里・有田消防組合運営負担金 7億7978万円

伊万里・有田消防組合の運営に要する経費などの一部を負担します。

財源 市7億7978万円

▼消防調整課

●消防団車両管理事業 537万円

各地区消防団に配備されている小型動力ポンプ付積載車の老朽化に伴い、順次更新を行います。

財源 諸収入527万円 市10万円

▼消防調整課

●防犯灯設置促進事業 120万円

各行政区の防犯灯設置に要する費用の一部を補助します。

財源 市120万円

▼総務課

●防災行政無線施設整備事業 1158万円

災害から市民の生命や財産を守るため、市民に対して一斉に災害情報を伝達することができる防災行政無線の整備に向けた実施設計を行います。

財源 市債1170万円 市△12万円

▼防災危機管理課

●急傾斜地整備事業 1450万円

急傾斜地崩壊危険区域で、斜面崩壊や落石の危険性が高く、家屋が崖地に隣接した地区の崩壊防止工事を行います。

財源 分担金362万円 県725万円 市363万円 ▼土木管理課



雨期を前に、市長をはじめ地元や防災関係者が災害危険箇所などを点検する防災パトロール

まちづくりの目標

自立と協働のまちづくり

市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、各町で主体的に取り組むまちづくり活動や、市民活動団体などが自ら実行する事業を支援するほか、市民などを国内研修に派遣するなど、地域づくりの担い手の育成に努めます。

的確で迅速な行政情報の提供に努めるとともに、個人情報保護への取り組みや情報公開制度の周知のほか、重要な施策などの決定においてパブリックコメントを実施するなど、行政運営への市民参加を促進します。平成28年1月から運用を開始する社会保障・番号制度に対応するため、各種情報システムの改修に取り組みます。

将来にわたり健全な行財政運営を進めていくため、新たな行政改革大綱の策定に取り組むとともに、自主財源の確保をはじめ、行政評価を活用するなど、さらなる行財政改革の推進に努めます。

男女協働参画を推進するための条例制定に向けて準備を進めるとともに、女性の自立に関する相談員を配置し、女性が抱える問題の解決に向けた支援に取り組めます。



伊万里市観光ボランティアガイドの会が主催して開催した『世界の菓子王』森永太郎翁の足跡と歴史探訪ツアー

●地域の元気推進事業 487万円

地域の課題に対応した、住民によるまちづくり活動を支援するため、市内全13町(地区) 公民館を拠点に組織された『まちづくり運営協議会』の活動に要する費用の一部を助成します。

財源 市487万円

▼男女協働・まちづくり課

●次代を創る研修事業 76万円

一般財団法人電源地域振興センターや全国市町村国際文化研修所が主催する人材育成を中心とした研修に市民と職員を派遣します。また、市民や団体向けの講演会を開催します。

財源 財産収入2万円 繰入金74万円

▼男女協働・まちづくり課

●社会保障・番号制度システム構築事業 5228万円

平成28年1月から運用が始まる社会保障・番号制度に対応する情報システムの構築に向け、各種情報システムの改修などを行います。

財源 国4128万円 市1100万円

▼情報広報課

●ふるさと応援寄附募集事業 8797万円

ふるさと応援基金に一定額以上が寄付された場合に、市内の特産品を送付し、市をPRするとともに、特産品の販売を促進し、産業振興と当該基金への寄付の増加を図ります。

財源 市8797万円 ▼企画政策課

●ファシリティマネジメント推進事業 28万円

【新】老朽化した公共施設の長寿命化や、統廃合などを進めるため、再配置計画を策定します。

財源 市28万円

▼企画政策課

●地籍調査事業 1億3049万円

公共財産を保全するとともに、土地に関する基礎資料とするため、黒川町・波多津町の一部の地籍調査を実施します。

財源 手数料16万円 県8850万円 諸収入56万円 市4127万円

▼地籍調査課

●甲子園プロジェクト推進事業 73万円

甲子園出場をテーマとした指導者研修会や高校野球強化試合の開催に要する費用の一部を補助します。

財源 繰入金40万円 市33万円

▼地域振興・公共交通対策課

●議員政務活動支援事業 540万円

市議会議員の調査研究活動に要する経費の一部を補助します。

財源 市540万円 ▼議会事務局



## 平成27年度 予算特集号

- 発行日／平成27年4月15日
- 発行編集／伊万里市情報広報課広報係  
(0955)23-4313(ダイヤルイン)  
〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
- 伊万里市のホームページ  
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷／山口印刷株式会社